

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 1 教育・保育

## (1) 教育・保育【市域全域・区分別】

## 【市域全域・区分別】

(1) 教育・保育【市域全域・区分別】

ア 第一期計画の実績 (単位:人)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (推計見込値)		
市域全域	13,874	13,578	13,177	13,106	12,789	・第二期計画におけるニーズ調査は、令和元年10月からの幼児教育・保育無償化実施後のニーズが反映されており、標準的な算定方法で算出した量の見込みは、一部認定の区分で施設利用の移行ニーズが表れている。	・各施設類型における定員が供給を表している。
1号認定	2606	2026	1900	1769	1736		
2号認定(幼)	639	853	822	898	878		
2号認定(保)	5935	5547	5371	5317	5209		
3号認定(0歳)	1030	1232	1098	1130	1056		
3号認定(1・2歳)	3664	3920	3986	3992	3910		
イ 国の手引きによる量の見込みと実績に基づく量の見込みについて (単位:人)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み (国手引き)	12,920	12,671	12,386	12,164	11,893		
1号認定	1,112	1,093	1,055	1,040	1,020		
2号認定(幼)	1,496	1,467	1,413	1,393	1,369		
2号認定(保)	4,848	4,752	4,585	4,522	4,430		
3号認定(0歳)	1,789	1,753	1,711	1,668	1,622		
3号認定(1・2歳)	3,675	3,606	3,622	3,541	3,452		
①'量の見込み (実績に基づく)	12,529	12,295	12,026	11,808	11,543		
1号認定	1,715	1,693	1,639	1,610	1,574		
2号認定(幼)	853	832	800	791	777		
2号認定(保)	5,095	4,997	4,823	4,755	4,661		
3号認定(0歳)	1,094	1,069	1,044	1,015	985		
3号認定(1・2歳)	3,772	3,704	3,720	3,637	3,546		
ウ 量の見込みの推計(案)							
推計方法(案)							
標準的な算定方法による量の見込みを採用。詳細は認定区分別による。							
推計方法(案)により試算した場合における量の見込み (単位:人)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み	12,270	12,034	11,764	11,557	11,302		
1号認定	1,112	1,093	1,055	1,040	1,020		
2号認定(幼)	1,496	1,467	1,413	1,393	1,369		
2号認定(保)	4,848	4,752	4,585	4,522	4,430		
3号認定(0歳)	1,139	1,116	1,089	1,061	1,031		
3号認定(1・2歳)	3,675	3,606	3,622	3,541	3,452		
②供給	13,258	13,337	13,495	13,516	13,517		
1号認定	1,699	1,653	1,627	1,581	1,520		
2号認定(幼)	1,058	1,134	1,270	1,337	1,399		
2号認定(保)	5,653	5,656	5,656	5,656	5,656		
3号認定(0歳)	1,091	1,105	1,117	1,117	1,117		
3号認定(1・2歳)	3,757	3,789	3,825	3,825	3,825		
②-①需給状況	988	1303	1731	1959	2215		
1号認定	587	560	572	541	500		
2号認定(幼)	▲ 438	▲ 333	▲ 143	▲ 56	30		
2号認定(保)	805	904	1071	1134	1226		
3号認定(0歳)	▲ 48	▲ 11	28	56	86		
3号認定(1・2歳)	82	183	203	284	373		

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 1 教育・保育

## (2) 教育・保育【1号認定】 保育を必要としない3歳以上児（認定こども園及び幼稚園）

## 【1号認定】

(2) 教育・保育【1号認定】

ア 第一期計画の実績 (単位:人)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (推計見込値)		
実績	2,606	2,026	1,900	1,769	1,736	標準的な算定方法の量の見込みには今後利用したいと考えている潜在ニーズを含んでいると考えられるが、供給が量の見込みを上回る状況である。 令和元年10月からの幼児教育・保育無償化の実施により1号認定から2号認定への移動が考えられ、無償化ニーズが反映された国手引きによる量の見込みに影響が表れている。特に認定こども園内での移動により、1号利用定員(供給)は減少する可能性がある。	現時点の定員 ・幼稚園:615人 ・認定こども園の1号認定:1,084人 ・合計:1,699人に施設整備による定員の増及び今後の利用状況による定員の変更により供給を確保。
東部区域	1,031	450	528	496	482		
西部区域	1,269	1,316	1,122	1,065	1,051		
南部区域	216	235	224	182	177		
北部区域	90	25	26	26	26		
イ 国の手引きによる量の見込みと実績に基づく量の見込みについて 市域全域 (単位:人)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み (国手引き)	1,112	1,093	1,055	1,040	1,020		
①'量の見込み (実績に基づく)	1,715	1,693	1,639	1,610	1,574		
I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み (国手引き)	501	487	466	461	458		
①'量の見込み (実績に基づく)	471	458	438	433	430		
II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み (国手引き)	512	512	501	491	476		
①'量の見込み (実績に基づく)	1,054	1,052	1,031	1,009	980		
III 南部区域(三里, 長浜, 御豊瀬, 浦戸, 春野)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み (国手引き)	91	85	80	81	79		
①'量の見込み (実績に基づく)	159	149	139	141	137		
IV 北部区域(鏡, 土佐山)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み (国手引き)	8	9	8	7	7		
①'量の見込み (実績に基づく)	31	34	31	27	27		

## ウ 量の見込みの推計(案)

## 推計方法(案)

標準的な算定方法による量の見込みは1号認定【幼稚園・認定こども園の利用者及び専業主婦(夫)等の幼稚園・認定こども園利用意向者】1,112人及び2号認定(幼)【就労世帯等のうち認定こども園利用者】1,496人の合計は2,608人であり、人口推計から利用率の実績を基に算出した利用者2,568人と、大幅な乖離はないため、現在の保護者ニーズを反映している国手引きに基づいた標準的な算定方法による量の見込みとする。

なお、標準的な算定方法は今回のニーズ調査において、幼児教育・保育無償化が実施された場合のニーズを聞いており、無償化の影響も一定考慮された結果となっている。

## 推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

## 市域全域

(単位:人)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	1,112	1,093	1,055	1,040	1,020
②供給	1,699	1,653	1,627	1,581	1,520
②-①需給状況	587	560	572	541	500

## I 東部区域(南街,北街,下知,江ノ口,五台山,高須,布師田,一宮,秦,大津,介良)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	501	487	466	461	458
②供給	491	485	479	473	467
②-①需給状況	▲10	▲2	13	12	9

## II 西部区域(上街,高知街,小高坂,旭街,潮江,初月,朝倉,鴨田)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	512	512	501	491	476
②供給	920	880	860	820	780
②-①需給状況	408	368	359	329	304

## III 南部区域(三里,長浜,御豊瀬,浦戸,春野)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	91	85	80	81	79
②供給	198	198	198	198	198
②-①需給状況	107	113	118	117	119

## IV 北部区域(鏡,土佐山)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	8	9	8	7	7
②供給	90	90	90	90	75
②-①需給状況	82	81	82	83	68

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 1 教育・保育

## 【(3) 教育・保育【2号認定(幼)】】

保育を必要とする3歳以上児（幼児期の学校教育の希望が強いと想定されるもの）

## 【2号認定(幼)】

(3) 教育・保育【2号認定(幼)】

## ア 第一期計画の実績

(単位:人)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (推計見込値)
実績	639	853	822	898	878
東部区域	383	470	404	429	417
西部区域	177	237	288	310	306
南部区域	79	146	130	159	155
北部区域	0	0	0	0	0

## イ 国の手引きによる量の見込みと実績に基づく量の見込みについて

## 市域全域

(単位:人)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み (国手引き)	1,496	1,467	1,413	1,393	1,369
①'量の見込み (実績に基づく)	853	832	800	791	777

## I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み (国手引き)	667	649	620	614	610
①'量の見込み (実績に基づく)	407	396	378	374	372

## II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み (国手引き)	635	634	621	608	591
①'量の見込み (実績に基づく)	307	306	300	294	285

## III 南部区域(三里, 長浜, 御豊瀬, 浦戸, 春野)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み (国手引き)	178	166	156	157	154
①'量の見込み (実績に基づく)	139	130	122	123	120

## IV 北部区域(鏡, 土佐山)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み (国手引き)	16	18	16	14	14
①'量の見込み (実績に基づく)	0	0	0	0	0

考察	「②供給」について
標準的な算定方法での量の見込みは、保育を必要とする潜在家庭類型において、現在、幼稚園(通常の就園時間の利用)を利用している者の割合から算出している。今回のニーズ調査においては幼児教育・保育無償化が実施される場合の利用形態の移行ニーズが反映されていることから、無償化の影響が反映されている。供給については、幼児教育・保育無償化の実施に伴い1号認定から2号認定(幼)への移動が見込まれ、認定こども園の2号認定子どもの定員が増加する可能性がある。	現時点の ・認定こども園の保育を必要とする定員:1,058人に施設整備による定員の増及び今後の利用状況による定員の変更により供給を確保。

## ウ 量の見込みの推計(案)

## 推計方法(案)

量の見込みについては、標準的な算定方法では、人口推計から利用率の実績を基に算出した推計値と比較し、約1.7倍になっている。  
この標準的な算定方法は、今回のニーズ調査において「幼児教育の無償化が拡大した場合」の保育を必要とする潜在家庭類型により、1号認定から2号認定(幼)の移行によるものであることが想定される。(幼稚園利用家庭における母親の就労希望を反映し、1号から2号のシフトが発生する。)  
1号認定、2号認定(幼)の合計が、標準的な算定方法で算出した推計値と大幅な乖離がないことから、2号認定(幼)についても現在の保護者ニーズを反映している標準的な算定方法の量の見込みとする。

## 推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

## 市域全域

(単位:人)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	1,496	1,467	1,413	1,393	1,369
②供給	1,058	1,134	1,270	1,337	1,399
②-①需給状況	▲ 438	▲ 333	▲ 143	▲ 56	30

## I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	667	649	620	614	610
②供給	504	540	576	603	610
②-①需給状況	▲ 163	▲ 109	▲ 44	▲ 11	0

## II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	635	634	621	608	591
②供給	371	411	511	551	591
②-①需給状況	▲ 264	▲ 223	▲ 110	▲ 57	0

## III 南部区域(三里, 長浜, 御豊瀬, 浦戸, 春野)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	178	166	156	157	154
②供給	183	183	183	183	183
②-①需給状況	5	17	27	26	29

## IV 北部区域(鏡, 土佐山)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	16	18	16	14	14
②供給	0	0	0	0	15
②-①需給状況	▲ 16	▲ 18	▲ 16	▲ 14	1

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 1 教育・保育

## 【(4) 教育・保育【2号認定(保)】

保育を必要とする3歳以上児(認定こども園及び保育所)

## 【2号認定(保)】

(4) 教育・保育【2号認定(保)】

ア 第一期計画の実績 (単位:人)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (推計見込値)		
実績	5,935	5,547	5,371	5,317	5,209	標準的な算定方法の量の見込みは、保育を必要とする潜在家庭類型において、今後、幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるものを除いた割合から算出されており、保育所及び認定こども園での利用が考えられる。ただし、2号認定(幼)において認定こども園の2号認定の量の見込みが設定されているため、2号認定(保)においては保育所のみで考える。保育所では、低年齢児の利用率が増加しており、定員の弾力運用により、2号認定(保)の供給量が実態より多くなっている場合がある。	現時点の3歳以上児の定員(認可外保育施設は年齢別の定員設定がないため現員を採用) ・保育所:5,627人 ・小規模(旧へき地):19人 ・認可外保育施設運営支援事業の対象施設:0人 ・合計:5,646人に施設整備による定員の増を考慮。
東部区域	2,260	2,158	2,066	2,041	1,984		
西部区域	2,696	2,549	2,530	2,507	2,474		
南部区域	939	800	757	753	733		
北部区域	40	40	18	16	18		
イ 国の手引きによる量の見込みと実績に基づく量の見込みについて 市域全域 (単位:人)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み (国手引き)	4,848	4,752	4,585	4,522	4,430		
①'量の見込み (実績に基づく)	5,095	4,997	4,823	4,755	4,661		
I 東部区域(南街,北街,下知,江ノ口,五台山,高須,布師田,一宮,秦,大津,介良)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み (国手引き)	1,738	1,691	1,616	1,598	1,588		
①'量の見込み (実績に基づく)	1,937	1,884	1,801	1,781	1,770		
II 西部区域(上街,高知街,小高坂,旭街,潮江,初月,朝倉,鴨田)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み (国手引き)	2,372	2,369	2,321	2,272	2,206		
①'量の見込み (実績に基づく)	2,480	2,477	2,427	2,376	2,307		
III 南部区域(三里,長浜,御豊瀬,浦戸,春野)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み (国手引き)	722	674	632	638	622		
①'量の見込み (実績に基づく)	659	615	576	582	568		
IV 北部区域(鏡,土佐山)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み (国手引き)	16	18	16	14	14		
①'量の見込み (実績に基づく)	19	21	19	16	16		

## ウ 量の見込みの推計(案)

## 推計方法(案)

標準的な算定方法の量の見込みは、11の施設類型の利用希望から2号認定(幼)を控除して算定しているが、その結果は現員数を下回ることとなった。これは現在の保育所等の利用者の中に、幼児期の学校教育を希望する世帯が含まれていることが推測されるが、今後の利用意向が反映されているとして標準的な算定方法による量の見込みとする。

供給量については、現在の区域内利用者の分布に偏りがあり、定員に満たない施設や、定員の弾力化により、定員を超えて受け入れがされている施設がある。市全域で定員に対する3歳以上児の保育所入所率は97.3%となっており、保育提供区域別の現員数でもいずれの区域も定員の範囲内であるため、利用定員を供給量とするのが妥当であると考えられる。

## 推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

## 市域全域

(単位:人)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	4,848	4,752	4,585	4,522	4,430
②供給	5,653	5,656	5,656	5,656	5,656
②-①需給状況	805	904	1,071	1,134	1,226

## I 東部区域(南街,北街,下知,江ノ口,五台山,高須,布師田,一宮,秦,大津,介良)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	1,738	1,691	1,616	1,598	1,588
②供給	2,168	2,168	2,168	2,168	2,168
②-①需給状況	430	477	552	570	580

## II 西部区域(上街,高知街,小高坂,旭街,潮江,初月,朝倉,鴨田)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	2,372	2,369	2,321	2,272	2,206
②供給	2,613	2,616	2,616	2,616	2,616
②-①需給状況	241	247	295	344	410

## III 南部区域(三里,長浜,御豊瀬,浦戸,春野)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	722	674	632	638	622
②供給	856	856	856	856	856
②-①需給状況	134	182	224	218	234

## IV 北部区域(鏡,土佐山)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	16	18	16	14	14
②供給	16	16	16	16	16
②-①需給状況	0	▲ 2	0	2	2

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 1 教育・保育

## 【(5) 教育・保育【3号認定(0歳)】

保育を必要とする0歳児(認定こども園及び保育所+地域型保育)

## 【3号認定(0歳)】

(5) 教育・保育【3号認定(0歳)】

ア 第一期計画の実績 (単位:人)						考察	「②供給」について		
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (推計見込み)				
実績	1,030	1,232	1,098	1,130	1,056			標準的な算定方法による量の見込みは全月齢を対象としているが、産後休暇や2か月未満児は保育所入所月齢に達していないことなどから、量の見込みの数値の適正化には月齢による控除が考えられ、また、育休中の場合は、保育を必要とする要件に該当しないため、控除の対象とすることが考えられる。	現時点の定員 ・保育所:812人 ・認定こども園:147人 ・小規模保育施設:71人 ・事業所内保育施設:25人 ・認可外保育施設運営支援事業の対象施設・企業主導型:18人 ・合計:1,073人 に施設整備による定員の増及び今後の利用状況による新規認可等により供給を確保。
東部区域	383	498	418	398	386				
西部区域	469	534	480	497	462				
南部区域	172	194	190	227	201				
北部区域	6	6	10	8	7				
イ 国の手引きによる量の見込みと実績に基づく量の見込みについて 市域全域 (単位:人)									
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
①量の見込み (国手引き)	1,789	1,753	1,711	1,668	1,622				
①'量の見込み (実績に基づく)	1,094	1,069	1,044	1,015	985				
I 東部区域(南街,北街,下知,江ノ口,五台山,高須,布師田,一宮,秦,大津,介良)									
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
①量の見込み (国手引き)	768	754	737	722	703				
①'量の見込み (実績に基づく)	400	392	384	376	366				
II 西部区域(上街,高知街,小高坂,旭街,潮江,初月,朝倉,鴨田)									
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
①量の見込み (国手引き)	837	822	803	782	762				
①'量の見込み (実績に基づく)	470	461	451	439	427				
III 南部区域(三里,長浜,御豊瀬,浦戸,春野)									
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
①量の見込み (国手引き)	177	170	164	158	151				
①'量の見込み (実績に基づく)	217	209	202	194	186				
IV 北部区域(鏡,土佐山)									
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
①量の見込み (国手引き)	7	7	7	6	6				
①'量の見込み (実績に基づく)	7	7	7	6	6				

ウ 量の見込みの推計(案)

推計方法(案)

子どもの育ちの観点から、また労働基準法の産後休暇からも、生後2か月までの控除が妥当と思われるが、本市の0歳児の実際の入所月齢にはバラつきがある。  
また、育児休業については、ニーズ調査に基づく育児休業取得の割合は、実態に即したものと考えられる。またワークライフバランスの観点から考えても、育児休業取得の割合で控除することが適正であると考えられる。

このため、量の見込みは生後2か月までの数値及び育児休業中の数値を控除した値を量の見込みとする。

推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

市域全域

(単位:人)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	1,139	1,116	1,089	1,061	1,031
②供給	1,091	1,105	1,117	1,117	1,117
②-①需給状況	▲ 48	▲ 11	28	56	86

<参考>生後月齢別のニーズ量と需給状況

条件	ニーズ量	需給状況
	A	=1,091-A
控除なし	1,789	▲ 698
生後2か月まで +育児休業中を控除	1,139	▲ 48
生後3か月まで +育児休業中を控除	1,104	▲ 13
生後6か月まで +育児休業中を控除	938	153
育児休業中を控除	1,248	▲ 157

I 東部区域(南街,北街,下知,江ノ口,五台山,高須,布師田,一宮,秦,大津,介良)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	457	448	438	429	418
②供給	413	422	422	422	422
②-①需給状況	▲ 44	▲ 26	▲ 16	▲ 7	4

II 西部区域(上街,高知街,小高坂,旭街,潮江,初月,朝倉,鴨田)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	524	515	503	490	477
②供給	496	501	513	513	513
②-①需給状況	▲ 28	▲ 14	10	23	36

III 南部区域(三里,長浜,御畳瀬,浦戸,春野)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	151	146	141	136	130
②供給	174	174	174	174	174
②-①需給状況	23	28	33	38	44

IV 北部区域(鏡,土佐山)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	7	7	7	6	6
②供給	8	8	8	8	8
②-①需給状況	1	1	1	2	2

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 1 教育・保育

**（6）教育・保育【3号認定（1，2歳）】** 保育を必要とする1・2歳児（認定こども園及び保育所＋地域型保育）**【3号認定（1，2歳）】**

(6) 教育・保育【3号認定（1，2歳）】

ア 第一期計画の実績 (単位:人)						考察	「②供給」について		
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (推計見込値)				
実績	3,664	3,920	3,986	3,992	3,910			<p>標準的な算定方法の量の見込みは、保育を必要とする潜在家庭類型において、今後、認可保育所等の保育施設の利用を選択した割合から算出されている。</p> <p>3号認定（1，2歳）の供給は、小規模保育施設や企業主導型保育施設の新設により、増加する可能性がある。</p>	<p>現時点の ・保育所:2,910人 ・認定こども園:621人 ・小規模保育施設:135人 ・事業所内保育施設:36人 ・認可外保育施設 運営支援事業の対象施設・企業主導型:42人 ・合計:3,744人 に施設整備による定員の増及び利用状況による新規認可等により供給を確保。</p>
東部区域	1,423	1,539	1,589	1,609	1,541				
西部区域	1,639	1,756	1,785	1,815	1,829				
南部区域	563	586	586	543	521				
北部区域	39	39	26	25	19				
イ 国の手引きによる量の見込みと実績に基づく量の見込みについて									
市域全域 (単位:人)									
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
①量の見込み (国手引き)	3,675	3,606	3,622	3,541	3,452				
①'量の見込み (実績に基づく)	3,772	3,704	3,720	3,637	3,546				
I 東部区域(南街,北街,下知,江ノ口,五台山,高須,布師田,一宮,秦,大津,介良)									
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
①量の見込み (国手引き)	1,375	1,375	1,385	1,357	1,327				
①'量の見込み (実績に基づく)	1,488	1,488	1,499	1,468	1,437				
II 西部区域(上街,高知街,小高坂,旭街,潮江,初月,朝倉,鴨田)									
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
①量の見込み (国手引き)	1,821	1,759	1,757	1,721	1,679				
①'量の見込み (実績に基づく)	1,758	1,698	1,696	1,662	1,621				
III 南部区域(三里,長浜,御豊瀬,浦戸,春野)									
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
①量の見込み (国手引き)	473	466	474	457	441				
①'量の見込み (実績に基づく)	508	500	509	491	473				
IV 北部区域(鏡,土佐山)									
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
①量の見込み (国手引き)	6	6	6	6	5				
①'量の見込み (実績に基づく)	18	18	16	16	15				

## ウ 量の見込みの推計(案)

## 推計方法(案)

標準的な算定方法の推計及び実績に基づく推計による需給バランスでは、全体として充足しているが、一部区域では不足している状況であり、需要に地域的な偏りのある現状を一定反映しているとも考えられる。  
このため量の見込みについては、標準的な算定方法の量の見込みとする。

## 推計方法(案)により試算した場合における量の見込み

## 市域全域

(単位:人)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	3,675	3,606	3,622	3,541	3,452
②供給	3,757	3,789	3,825	3,825	3,825
②-①需給状況	82	183	203	284	373

## I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	1,375	1,375	1,385	1,357	1,327
②供給	1,450	1,470	1,470	1,470	1,470
②-①需給状況	75	95	85	113	143

## II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	1,821	1,759	1,757	1,721	1,679
②供給	1,677	1,689	1,725	1,725	1,725
②-①需給状況	▲ 144	▲ 70	▲ 32	4	46

## III 南部区域(三里, 長浜, 御畳瀬, 浦戸, 春野)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	473	466	474	457	441
②供給	605	605	605	605	605
②-①需給状況	132	139	131	148	164

## IV 北部区域(鏡, 土佐山)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	6	6	6	6	5
②供給	25	25	25	25	25
②-①需給状況	19	19	19	19	20

【高知市における量の見込みの推計（案）】

2 地域子ども・子育て支援事業

(1) 時間外保育事業

(事業概要) 11時間の開所時間を超えて保育を行う事業

時間外保育事業

(1) 時間外保育事業

ア 第一期計画の実績

(単位:人)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (推計見込値)
市域全域	3,261	3,421	3,405	3,412	3,321
東部区域	1,075	1,129	1,109	1,129	1,091
西部区域	1,395	1,387	1,472	1,496	1,479
南部区域	786	900	819	782	747
北部区域	5	5	5	5	4

考察	「②供給」について
<p>○ 高知市における保育時間は【 8:30～16:30(短時間), 7:30～18:30(標準時間) 】 そのため、時間外保育事業は18:30から30分以上の延長が要件 ○ 国の手引きによる抽出条件は【希望保育時間18時以降】となっている。</p>	<p>H30年度 延長保育事業 実登録者数から推計</p>
<p>国の手引きによる抽出条件は、18時以降の保育希望者で算定することになっている。本事業は、11時間30分を超えて保育を行う事業を対象としており、本市の場合、施設開所時間の関係上、19時以降の保育希望者の算定が当事業に該当する。ニーズ調査において19時以降の保育希望と回答があった児童数に補正したものを量の見込みとする。</p>	<p>市域全体では若干量の見込みから不足するが、西部区域の供給不足が影響していることから、提供体制の追加を検討する必要がある。</p>

イ 国の手引きに基づく量の見込み

(単位:人)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市域全域	6,573	6,447	6,317	6,199	6,057
東部区域	2,470	2,428	2,371	2,333	2,299
西部区域	3,297	3,248	3,201	3,132	3,047
南部区域	789	753	729	719	697
北部区域	17	18	16	15	14

ウ 量の見込みの推計(案)

市域全域

(単位:人)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	2,425	2,379	2,330	2,286	2,232
②供給	2,417	2,431	2,467	2,467	2,525
②-①需給状況	▲ 8	52	137	181	293

(「②供給」について 続き)

具体的には、平成30年度実績値を基にすると(表1参照)、西部区域の施設では、児童数に対して平均27.8%の利用実績があった。市内保育所・認定こども園の2・3号認定の平均定員は104人であり、この平均利用率の27.8%の利用を見込むとすると、1施設当たり約29人の供給を見込むことができると考えられる。このため、計画最終年度で西部区域で不足している43人分の供給は、令和6年度当初から2施設程度の新規事業参入で賄うことを想定している。

1施設に見込む供給数 29人

$$\left[ \begin{array}{l} \text{西部区域} \\ \text{平均児童} \end{array} \times \text{利用率実績} \right] \times 2 \text{施設} > 43 \text{人}$$

また、北部区域については、利用希望があれば、公立園であるため、受け入れ体制を整えることができると考えている。

I 東部区域(南街, 北街, 下知, 江ノ口, 五台山, 高須, 布師田, 一宮, 秦, 大津, 介良)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	853	839	819	806	794
②供給	851	861	866	866	866
②-①需給状況	▲ 2	22	47	60	72

<表1>

II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	1,245	1,227	1,209	1,183	1,151
②供給	1,073	1,077	1,108	1,108	1,166
②-①需給状況	▲ 172	▲ 150	▲ 101	▲ 75	15

	平成30年度実績値に基づく利用状況			令和2年度の実施圏を適応した場合	
	事業実施圏における児童数現員(人)	利用登録者(人)	利用率実績(%)	事業実施圏における児童数現員(人)	利用率実績による利用者見込み(供給値)
市域全域	6,552	2,010	31.8%	7,783	2,400
東部区域	2,018	679	33.6%	2,529	851
西部区域	3,422	953	27.8%	3,854	1,073 (令和6年度 ▲43)
南部区域	1,112	378	34.0%	1,400	476
北部区域	0	0	-	0	0

※平成30年度は事業実績報告に基づく数値  
※令和2年度は事業実施可能な施設の児童数現員から推計

●供給体制を追加しない場合の需給状況(西部区域)

II 西部区域(上街, 高知街, 小高坂, 旭街, 潮江, 初月, 朝倉, 鴨田)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	1,245	1,227	1,209	1,183	1,151
②供給	1,073	1,077	1,108	1,108	1,108
②-①需給状況	▲ 172	▲ 150	▲ 101	▲ 75	▲ 43

III 南部区域(三里, 長浜, 御堂瀬, 浦戸, 春野)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	310	295	286	282	273
②供給	476	476	476	476	476
②-①需給状況	166	181	190	194	203

IV 北部区域(鏡, 土佐山)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	17	18	16	15	14
②供給	17	17	17	17	17
②-①需給状況	0	▲ 1	1	2	3

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 2 地域子ども・子育て支援事業

## (2) 一時預かり事業

(事業概要) 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児又は幼児について、主として昼間において、保育所その他の場所において、一時的に預かる事業。

## 1 幼稚園における一時預かり事業

(2) 一時預かり事業

ア 第一期計画の実績 (単位:人日)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (推計見込値)		
実績	281,130	278,260	273,955	271,905	268,966		
イ 国手引きに基づく量の見込み (単位:人日)						<p>国手引きによる算定方法において、1号認定による利用は、リフレッシュ事由による幼稚園の預かり保育と考えられ、2号認定による利用は、教育・保育【2号認定(幼)】の利用を想定しているが、国手引きによる標準的な算定方法では、現在幼稚園に通わせている保護者で就労希望があると回答した人が多くみられるためニーズ量が多くなっている。</p> <p>実態との乖離が大きいため、平成30年度に施設に対し利用状況調査を行い、幼稚園・認定こども園の幼稚園型一時預かり事業の利用実績値から、年間の利用児童数の推計値を量の見込みとして算出。</p>	<p>幼稚園による一時預かり保育は、保育所等での一時預かり事業と異なり、事業の範囲内であれば利用要件や日数等に制限がないため、希望があれば利用が可能な状況である。供給の値は量の見込みと同じ値を採用。</p>
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
量の見込み	384,907	377,419	363,752	358,420	351,904		
1号認定による利用	5,965	5,869	5,673	5,585	5,490		
2号認定による利用	378,942	371,550	358,079	352,835	346,414		
ウ 量の見込みの推計(案) (単位:人日)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み	165,600	162,378	156,499	154,205	151,401		
1号認定による利用	2,566	2,525	2,441	2,403	2,362		
2号認定による利用	163,034	159,853	154,058	151,802	149,039		
②供給	165,600	162,378	156,499	154,205	151,401		
1号認定による利用	2,566	2,525	2,441	2,403	2,362		
2号認定による利用	163,034	159,853	154,058	151,802	149,039		
②-①需給状況	0	0	0	0	0		

【高知市における量の見込みの推計（案）】

2 地域子ども・子育て支援事業

(2) 一時預かり事業

(事業概要) 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児又は幼児について、主として昼間において、保育所その他の場所において、一時的に預かる事業。

2 一時預かり事業(その他)

(2) 一時預かり事業

ア 第一期計画の実績 (単位:人日)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (推計見込み)
実績	12,670	10,253	11,417	11,058	10,767

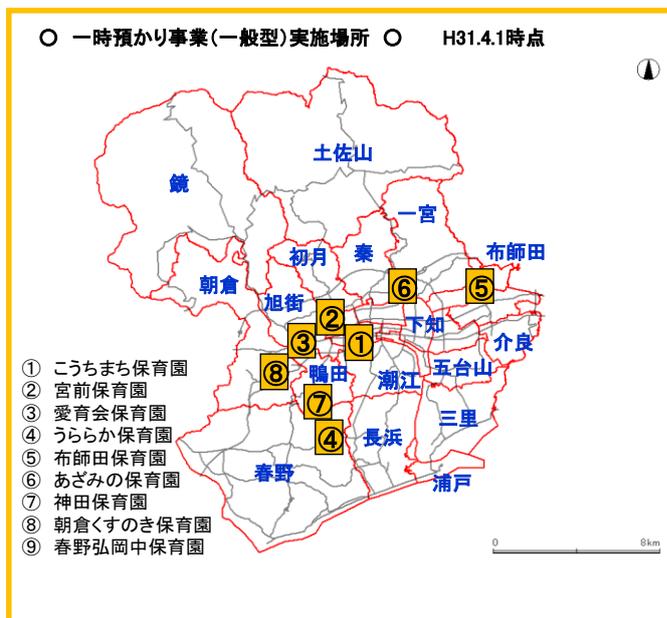
イ 国手引きに基づく量の見込み (単位:人日)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み	91,466	89,681	87,870	86,258	84,377

ウ 量の見込みの推計(案) (単位:人日)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	11,767	11,551	11,364	11,128	10,894
②供給	11,228	11,228	11,228	11,228	11,228
②-①需給状況	▲ 539	▲ 323	▲ 136	100	334

考察	「供給」について
一時預かり事業(その他)では、一般型や余裕活用型の一時的預かり事業が想定され、基本的に幼稚園、保育所及び認定こども園(運営費国庫補助施設)の在籍児は利用できないが、国手引きでは量の見込みの算出に含まれているため、ニーズが供給(実績値)と比較して過大になっている。	H30年度実績 一般型 11,058人 余裕活用型170人
これにより、①運営費に係る国庫補助対象施設在籍者は利用できないこと。また、②原則として一時預かり事業が1歳児以上を対象としていることから、これら①②の施設の利用実態に沿ったニーズの推計値を量の見込みとして算出。	



「一時預かり事業(一般型)」  
保育所等において、一定の利用児童が見込め、保育所等児童福祉施設の設備や保育の内容の基準に準じ、専任保育士を配置し事業を実施。  
現在認可保育所において実施しており、高知市では9施設が事業を実施(左図参照)。

「一時預かり事業(余裕活用型)」  
保育施設に係る利用児童数が利用定員総数に満たない場合に、一時預かり事業での受け入れができる。  
認定こども園や小規模保育施設において実施しており、高知市では約20施設が事業を実施。

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 2 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

## (3) 放課後児童健全育成事業

## 放課後児童健全育成事業

ア 第一期計画の実績 市域全域 (単位:人)							考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度			
実績	1年生	1,389	1,372	1,388	1,366	1,421	<p>・国通知で示された考え方に基づき、小学校1年生から小学校6年生までの各学年ごとの区分の量の見込みとした。</p> <p>・算出の方法は、平成28年度から平成31年度までの利用児童数の増減傾向を基に、小学校ごとの利用児童数を推計し、利用児童数総数を量の見込みとした。</p> <p>・供給量については、待機児童を解消するために量の見込みと同数とした。</p>	
	2年生	1,175	1,231	1,223	1,217	1,234		
	3年生	907	891	972	967	910		
	4年生	234	318	334	390	374		
	5年生	21	82	75	112	116		
	6年生	4	11	33	26	28		
	低学年	3,471	3,494	3,583	3,550	3,565		
	高学年	259	411	442	528	518		
	合計	3,730	3,905	4,025	4,078	4,083		
イ 量の見込みの推計(案) 市域全域 (単位:人)								
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
①量の見込み	1年生	1,432	1,441	1,446	1,456	1,466	<p>・国通知で示された考え方に基づき、小学校1年生から小学校6年生までの各学年ごとの区分の量の見込みとした。</p> <p>・算出の方法は、平成28年度から平成31年度までの利用児童数の増減傾向を基に、小学校ごとの利用児童数を推計し、利用児童数総数を量の見込みとした。</p> <p>・供給量については、待機児童を解消するために量の見込みと同数とした。</p>	
	2年生	1,256	1,262	1,269	1,276	1,285		
	3年生	959	965	969	976	982		
	4年生	460	498	534	568	606		
	5年生	104	112	121	129	137		
	6年生	27	29	31	33	35		
	低学年	3,647	3,668	3,684	3,708	3,733		
	高学年	591	639	686	730	778		
	合計	4,238	4,307	4,370	4,438	4,511		
②供給	4,238	4,307	4,370	4,438	4,511			
②-①需給状況	0	0	0	0	0			

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 2 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

## (4) 地域子育て支援拠点事業

## 地域子育て支援拠点事業

ア 第一期計画の実績						(単位: 人日)	
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	考察	「②供給」について
実績	45,444	51,618	51,373	57,600	57,600		
施設数	10	10	11	14	14		
イ 量の見込みの推計(案)						(単位: 人日)	
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	<p>・平成27年から平成31年までの「利用実績」を基に、年度間の伸び率から推計値を算出し、それに推計人口変動率を乗じて量の見込みとした。</p>	<p>・今後、2施設増を見込む。</p>
①量の見込み	60,037	58,872	57,666	56,589	55,310		
②供給	59,600	61,600	61,600	61,600	61,600		
②-①需給状況	▲ 437	2,728	3,934	5,011	6,290		
施設数	15	16	16	16	16		

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 2 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

## (5)-① 病児保育事業

## 病児保育事業(非施設型・訪問型)

ア 第一期計画の実績						イ 量の見込みの推計(案)	
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
実績					100		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和2年度	令和3年度
①量の見込み	196	194	190	186	182	196	194
②供給	196	194	190	186	182	0	0
②-①需給状況	0	0	0	0	0		

考察	「②供給」について
<p>・平成31年度からの新規事業であるため、平成31年度の実績は予算における推計値。事業開始は9月からの見込みのため、平成31年度は約半年分の実績となる見込み。</p> <p>・令和2年度からの量の見込みは、平成31年度の実績見込を2倍して1年分としたうえで、推計人口変動率に基づいて算出した。</p>	<p>・利用に定員はないため、量の見込みを供給とする。</p>

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 2 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

## (5)－① 病児保育事業

## 病児保育事業(施設型)

ア 第一期計画の実績						(単位:人日)	
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	考察	「②供給」について
実績	1,975	2,008	1,897	1,765	1,765		
施設数	4	4	5	5	5		
イ 量の見込みの推計(案)						(単位:人日)	
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	<p>・量の見込みは、平成31年度実績見込値に推計人口変動率をかけて求めた推計値を基に、平成27年度から平成30年度までの利用できなかった平均申込数622人を加え、訪問型病児保育へのニーズの分散なども考慮して、量の見込みを算出した。</p>	<p>・1882人日 (疾病の流行により実績数は変動するため、過去5カ年の平均実績値を供給量とする)</p> <p>・今後、1施設増を見込む。</p>
①量の見込み	2,161	2,132	2,104	2,074	2,043		
②供給	1,882	1,882	1,882	1,882	2,282		
②-①需給状況	▲ 279	▲ 250	▲ 222	▲ 192	239		
施設数	5	5	5	5	6		

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 2 地域子ども・子育て支援事業

## (5)-② 病児保育事業

(事業概要) 児童が発熱等の急な病気となった場合、病院・保育所等に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育する事業。

## 病児保育事業(体調不良児対応型)

(5)-② 病児保育事業

ア 第一期計画の実績 (単位:人日)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (推計見込値)		
実績	-	1,307	7,693	7,660	7,459	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調不良児対応型の利用児童は保育所等に入所する児童が対象。</li> <li>・看護師の配置のある施設では実施可能。(供給の確保)</li> <li>・保育中の突発的な体調不良への対応についてはニーズによるものではなく、体調が不良となった際には対応が必要であるため過去の実績に基づき、過去3年間の児童1人あたりの利用日数の最大値を直近の事業実施施設の入所児童数に乗じて算出。</li> </ul>	利用児童は在園児が対象となるため、対象となる児童はすべてが利用できることになり、量の見込みと同数とする。
施設数	-	16	47	51	51		
イ 国手引きに基づく量の見込み (単位:人日)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
量の見込み	国手引きに算出方法の記載なし						
ウ 量の見込みの推計(案) (単位:人日)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み	8,613	8,446	8,273	8,118	7,935		
②供給	8,613	8,446	8,273	8,118	7,935		
②-①需給状況	0	0	0	0	0		
施設数	58	58	58	58	58		

体調不良児対応型 量の見込み算出方法			
	H28	H29	H30
施設数	16	47	51
各年度4月1日時点入所児童数のべ利用児童数	1,889	4,614	5,166
入所児童1人あたりの利用日数	0.7	1.7	1.5
1施設当たりののべ利用児童数	82	164	150

・【直近(H30)の事業実施施設の入所児童数】×【過去3年間の入所児童1人あたりの利用回数の最大値】

$$5,166人 \times 1.7人日 = 8,613人日$$

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 2 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

## (6)子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)

## 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)

ア 第一期計画の実績						(単位:人日)	
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	考察	「②供給」について
実績	2,053	2,423	2,816	2,226	2,226	・国の手引きに基づいて算出した量の見込みは、実績値の約10分の1と過少となるため、実績値に基づいて算出した。 ・平成31年度の利用実績見込に推計人口変動率をかけた数値に、依頼と援助の不一致件数の平均を加算して量の見込みとした。	・利用ニーズに合致する援助会員を確保することで需要を充たしていく。
イ 量の見込みの推計(案)						(単位:人日)	
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み	2,287	2,246	2,211	2,172	2,132		
②供給	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250		
②-①需給状況	▲ 37	4	39	78	118		

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 2 地域子ども・子育て支援事業

## (7) 子育て短期支援事業

ア 第一期計画の実績 (単位:人日)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
実績 (ショートステイ)	599	361	152	192	522	<p>【ショートステイ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実績の平均値に推計人口変動率をかけて求めた推計値に、利用希望がありながら利用できなかった推計値(平均186人日/年)を加えて、量の見込みを算出した。</li> <li>・過去の利用実績から、1回当たりの利用日数は1週間以内がほとんどである。</li> <li>・H30年度のニーズ調査において、一時的な預かりの目的としては、「私用、リフレッシュ」が62.9%、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」が49.0%であることから、利用希望期間は1週間以内のものがほとんどであると考えられる。</li> </ul> <p>【トワイライト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度までの利用実績がないため、平成31年度予算書に基づく推計値(90人日/年)を量の見込みとした。</li> <li>・受け入れ対応施設は、市内1カ所のみ。ファミサポの利用や障がいサービス(放課後児童デイサービス)等の充実もあり、最近では利用相談なし。</li> </ul> <p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度実績は、予算書に基づいたもの(推計)である。</li> <li>・国手引きによる量の見込みは、実績とはかけ離れた数値である。</li> </ul>	<p>【ショートステイ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去5か年の利用実績の最大値を供給量とする。</li> <li>・施設の状況により利用がしづらい状況が一時期あったが、受け入れ態勢は一定改善傾向にある。緊急性が高いケースについては、児童相談所との連携(一時保護委託)により対応。</li> </ul> <p>【トワイライト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の体制的な制限はあるが、ほぼ毎日供給可能(1人日)と見込んでいる。</li> </ul>
実績 (トワイライト)	0	0	0	0	90		
イ 国の手引きによる量の見込みと実績に基づく量の見込みについて (単位:人日)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
児童数(0~11歳)	31,273	30,690	30,198	29,643	29,064		
①量の見込み (国手引き)	9,526	9,344	9,154	8,987	8,790		
①'量の見込み (実績に基づく)	436	428	423	417	409		
①'の内訳 (ショートステイ)	346	339	334	328	321		
①'の内訳 (トワイライト)	90	89	89	89	88		
②供給	950	950	950	950	950		
②供給の内訳 (ショートステイ)	600	600	600	600	600		
②供給の内訳 (トワイライト)	350	350	350	350	350		
②-①需給状況	▲ 8,576	▲ 8,394	▲ 8,204	▲ 8,037	▲ 7,840		
②-①'需給状況	514	522	527	533	541		
ウ 量の見込みの推計(案)							
推計方法(案)							
<p>・国手引きによる量の見込みは、実績と解離しており、第一期計画と同様に実績に基づく量の見込みの算出が妥当と思われる。供給量についても、過去5か年の利用実績の最大値の供給は見込める。</p>							
推計方法(案)により試算した場合における量の見込み (単位:人日)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
【ショートステイ】							
①量の見込み	532	525	520	514	507		
②供給	600	600	600	600	600		
②-①需給状況	68	75	80	86	93		
【トワイライト】							
①量の見込み	90	89	89	89	88		
②供給	350	350	350	350	350		
②-①需給状況	260	261	261	261	262		
【合計】							
①量の見込み	622	614	609	603	595		
②供給	950	950	950	950	950		
②-①需給状況	328	336	341	347	355		

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 2 地域子ども・子育て支援事業

## (8) 養育支援訪問事業

ア 第一期計画の実績 (単位:件)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
実績(合計)	672	547	297	494	526	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度の訪問件数は、極端に少ない状態があるが、一時的な減少と考える。平成22年度の727件をピークに全体的には減少傾向にある。</li> <li>・1ヶ月の対応実家庭数は、平成27年12.9件、平成28年12.8件、平成29年8.8件、平成30年11.7件であり、平均11.55件である。</li> <li>・平成31年度実績は、予算書に基づいたもの(推計)である。</li> <li>・量の見込みとしては、平均値とし人口推移から推計する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養育支援訪問事業の委託条件(3人役)は、変更しておらず、供給量としては、過去最大値(平成22年)での供給が可能。</li> </ul>
実績内訳(調査訪問)	13	17	13	17	13		
実績内訳(専門的援助)	312	226	229	265	235		
実績内訳(育児・家事等の援助)	347	304	55	212	278		
イ 量の見込みの推計(案) (単位:件)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
児童数(0～11歳)	31,273	30,690	30,198	29,643	29,064		
①量の見込み	481	472	464	456	447		
②供給	727	727	727	727	727		
②-①需給状況	246	255	263	271	280		

## (9) 妊婦健康診査

## ① 第一期計画の実績

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
実績 (健診回数)	32,186	31,451	30,587	28,887	27,732

## [市域全域]

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み(人)	2,384	2,335	2,279	2,221	2,159
(健診回数)	33,376	32,690	31,906	31,094	30,226
②現在の状況(健診回数)	28,608	—	—	—	—
②-①の状況	▲4,768				
提供体制の確保の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所及び実施体制: 県内の医療機関又は助産所に高知県が広域で委託契約して実施(実施主体は高知市)            ※契約先: 高知県医師会/国立病院機構高知病院/高知大学医学部附属病院/あき総合病院/幡多けんみん病院/高知医療センター/助産所等(1か所)</li> <li>・検査項目: 国で定められた検査項目+子宮頸管長測定+細菌培養検査</li> <li>・実施時期: 原則として妊娠期間中の国基準に定める時期(受診回数 14 回)</li> </ul>				

## (10) 乳児家庭全戸訪問事業

## ① 第一期計画の実績

(単位: 人)

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
実績	2,718	2,572	2,576	2,361	2,239

## [市域全域]

(単位: 人)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	2,384	2,335	2,279	2,221	2,159
②現在の状況	2,310	—	—	—	—
②-①の状況	▲74				
提供体制の確保の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施体制: 子育て支援訪問員 23 人            地区担当保健師 14 人</li> <li>・担当部署: 母子保健課</li> </ul>				

## (11) 利用者支援事業

## ① 第一期計画の実績

(単位:施設数)

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
実績(母子)	1	1	1	1	2

## [市域全域]

(単位:施設数)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	4	5	5	5	5
②供給	基本型	—	—	—	—
	特定型	1	1	1	1
	母子保健型	3	4	4	4
②-①需給状況	0	0	0	0	0

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 2 地域子ども・子育て支援事業

## (11) 利用者支援事業

(事業概要) 教育・保育施設や地域の子育て支援の事業等の利用について情報集約と提供を行うとともに、子どもや保護者からの相談に応じ、必要な情報提供・助言をし、関係機関との連絡調整等を行う。

## 2 利用者支援事業(特定型)

(11) 利用者支援事業

ア 第一期計画の実績 (単位:施設)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (推計見込値)		
実績	1	1	1	1	1	・利用者支援事業(特定型)は行政の窓口での実施が想定されている。 ・保育幼稚園課窓口(1か所)での実施。	H30年度実績
イ 国手引きに基づく量の見込み (単位:施設)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
量の見込み	1	1	1	1	1		
ウ 量の見込みの推計(案) (単位:施設)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み	1	1	1	1	1		
②供給	1	1	1	1	1		
②-①需給状況	0	0	0	0	0		

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 2 地域子ども・子育て支援事業

## (12)-① 実費徴収に係る補足給付を行う事業

(事業概要) 保護者の世帯状況等を勘案して、教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成する。

## 実費徴収に係る補足給付を行う事業

## (12)-① 実費徴収に係る補足給付を行う事業

ア 第一期計画の実績 (単位:人)						考察	「②供給」について	
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (推計見込値)			
実績	3,851	3,116	2,809	2,598	2,598	<p>・平成30年度の実績を量の見込みとし、令和3年度以降は推計人口変動率による推計値を量の見込みとする。</p> <p>・保護者の世帯状況によるものであり、供給量は量の見込みと同数となる。</p>		
イ 国手引きに基づく量の見込み (単位:人)								
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		H30年度実績	
量の見込み	国手引きに算出方法の記載なし							
ウ 量の見込みの推計(案) (単位:人)								
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
①量の見込み	2,598	2,464	2,336	2,215	2,101			
②供給	2,598	2,464	2,336	2,215	2,101			
②-①需給状況	0	0	0	0	0			

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 2 地域子ども・子育て支援事業

## (12)-② 実費徴収に係る補足給付を行う事業

(事業概要) 保護者の世帯状況等を勘案して、教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成する。

## 実費徴収に係る補足給付を行う事業(副食費の免除) NEW

(12)-② 実費徴収に係る補足給付を行う事業

ア 第一期計画の実績 (単位:人)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (推計見込値)		
実績	-	-	-	-	-	幼児教育・保育無償化後の副食費の免除対象者(3歳以上児の年収360万円未満相当の世帯及び第3子以降)について、私学助成の新制度未移行幼稚園・国立大学附属幼稚園を利用する3歳以上児について、副食費を助成する。  ・対象施設は新制度未移行幼稚園2施設と国立大附属幼稚園の3施設。 ・量の見込みは、平成30年度の就園奨励費の補助申請者のうち年収360万円未満の世帯及び第3子以降の対象児童数から推計。	・保護者の世帯状況によるものであり、量の見込みと同数となる。
イ 国手引きに基づく量の見込み (単位:人)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
量の見込み	国手引きに算出方法の記載なし						
ウ 量の見込みの推計(案) (単位:人)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み	432	432	432	432	432		
②供給	432	432	432	432	432		
②-①需給状況	0	0	0	0	0		

(平成30年度就園奨励費補助金対象児童のうち免除対象者36人×12か月=432人)

「子ども・子育て支援交付金」の対象事業であり、交付金の交付を受けるためには事業計画に従って実施することが条件とされている。

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 2 地域子ども・子育て支援事業

## (13) 多様な主体の参入促進・能力活用事業

(事業概要) 新規参入事業者に対する相談・助言等巡回支援や、私学助成(幼稚園特別支援教育経費)や特別支援保育事業の対象とならない特別な支援が必要な子どもを認定こども園で受け入れるための職員の加配を促進する。

## 認定こども園特別支援教育・保育経費

(13) 多様な主体の参入促進・能力活用事業

ア 第一期計画の実績 (単位:施設)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (推計見込値)		
実績	対象施設なし	対象施設なし	1	対象施設なし	対象施設なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康面や発達面において特別な支援が必要な子どもを受け入れる私立認定こども園の設置者に対して、職員の加配に必要な費用の一部を補助する事業。</li> <li>・特別な支援の必要な子どものための事業であり、対象児童は専門機関の判定が必要。</li> <li>・過去の実績により見込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象児童の入所状況や加配職員の配置によるが、基本的に事業の要件に従い対象施設があれば、実施可能であるため、量の見込みと同数とする。</li> </ul>
イ 国手引きに基づく量の見込み (単位:施設)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
量の見込み	国手引きに算出方法の記載なし						
ウ 量の見込みの推計(案) (単位:施設)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み	1	1	1	1	1		
②供給	1	1	1	1	1		
②-①需給状況	0	0	0	0	0		

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 4 新・放課後子ども総合プランの量の見込みについて

## (1)放課後児童クラブ

## 放課後児童クラブ

ア 第一期計画の実績 市域全域 (単位:クラブ)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
実績 クラブ数	78	81	85	88	92

イ 量の見込みの推計(案) 市域全域 (単位:クラブ)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	113	113	116	117	118
②供給	96	101	106	112	118
②-①需給状況	▲ 17	▲ 12	▲ 10	▲ 5	0

考察	「②供給」について
<p>・放課後児童クラブの施設整備については、第一期計画期間においては待機児童解消を優先した施設整備を行ってきた実績となっているが、第二期計画では、待機児童解消に加え、国基準の「1クラブの定員概ね40名」を実現するための施設整備も盛り込んでいく必要がある。</p> <p>・上記を踏まえ、第二期の量の見込みとしては、各年度の推計利用児童数を国基準の利用定員数で除して算出した。</p>	<p>・令和2年度については現時点での確保予算からの実績見合いとし、令和3年度からは待機児童解消に加え、国基準を充たすための施設整備を各年度3～6施設程度実施していくこととしている。</p>

ア 第一期計画の実績 市域全域 (単位:校)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
実績 実施小学校	35	35	35	35	35

イ 量の見込みの推計(案) 市域全域 (単位:校)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	35	35	35	35	35
②供給	35	35	35	35	35
②-①需給状況	0	0	0	0	0

考察	「②供給」について
<p>・現在開設している小学校を見込みとした。</p>	<p>・現時点で開設している小学校とする。</p>

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 4 新・放課後子ども総合プランの量の見込みについて

## (2)放課後子供教室

## 放課後子供教室

ア 第一期計画の実績 市域全域 (単位:人)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
実績	916	1,019	848	942	942

イ 量の見込みの推計(案) 市域全域 (単位:人)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	931	931	931	931	931
②供給	931	931	931	931	931
②-①需給状況	0	0	0	0	0

考察	「②供給」について
・平成27年度から平成30年度の実績数値の平均を量の見込みとした。	・参加人数に定員はないため量の見込みと同数を供給量とした。

ア 第一期計画の実績 市域全域 (単位:校)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
実績 実施小学校	36	39	41	41	41

イ 量の見込みの推計(案) 市域全域 (単位:校)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①量の見込み	41	41	41	41	41
②供給	41	41	41	41	41
②-①需給状況	0	0	0	0	0

考察	「②供給」について
・全ての小学校・義務教育で実施しているため、現状の教室数を見込みとした。	・現状の教室数とした。

## 【高知市における量の見込みの推計（案）】

## 4 新・放課後子ども総合プランの量の見込みについて

## (3)一体的に実施する令和6年度に達成されるべき目標事業量

## 一体的に実施する小学校

ア 第一期計画の実績 市域全域 (単位:校)						考察	「②供給」について
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
児童クラブ実施校数	35	35	35	35	35	<p>・全ての児童クラブ開設小学校で実施するため、小学校数を量の見込みとした。</p> <p>・毎年5～10校での実施とした。</p>	
子供教室実施校数	36	39	41	41	41		
一体的に実施する箇所数	0	0	0	0	0		
イ 量の見込みの推計(案) 市域全域 (単位:校)							
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①量の見込み	35	35	35	35	35		
②供給	5	10	20	30	35		
②-①需給状況	▲ 30	▲ 25	▲ 15	▲ 5	0		